



## ごあいさつ



港区長  
武井 雅昭

みなと環境にやさしい事業者会議におかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業活動に大きな影響がある中、「スポーツGOMI拾い大会 in みなと」や「企業と環境展」の開催など、事業者・区民・区の協働の場となる様々な活動に積極的に取り組んでいただいております。これまでの活動に対し、厚く御礼申し上げます。

区は、人の暮らしと環境が調和した持続可能なまちの実現に向けて、「2050年までに区内の温室効果ガスの排出実質ゼロ」を達成するための取組を進めています。区が率先して、温室効果ガス排出量を削減するため、区有施設の電力を100パーセント再生可能エネルギーに転換し、新たに計画する施設については、ゼロ・エネルギー・ビルを目指し、これまで以上に省エネ効果の高い建物とします。

また、脱ガソリン車へのシフトを加速させるため、電気自動車を道路パトローカーに導入するほか、ちいばすの電気自動車導入も推進します。

このような取組を通して、区民や事業者の協力を得ながら、地域と一体となって脱炭素化を進めていきます。

会員事業者の皆様におかれましても、環境負荷の少ない社会経済活動への転換について、一層のご協力をお願いします。

今後も、会員事業者の皆様の環境問題解決に向けた取組を通じ、みなと環境にやさしい事業者会議の活動が益々発展されることを祈念いたします。



みなと環境にやさしい事業者会議  
会長  
港区副区長  
野澤 靖弘

平成18年5月に設立されたみなと環境にやさしい事業者会議（mecc）は、日本の環境分野をリードする会員事業者の皆様とともに歩みを進めてまいりました。会員事業者の皆様には、事業者会議の運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、真鍋淑郎さんが、大気中の二酸化炭素濃度が気候に与える影響を明らかにした研究の功績が称えられ、ノーベル物理学賞を受賞されました。また、イギリスのグラスゴーではCOP26が開催され、気候変動の問題について、国際社会が一体となり、直ちに取り組むべき重要な課題として議論されるなど、国際社会において、大きな関心事となっています。

みなと環境にやさしい事業者会議の活動におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業が中止になりましたが、再生可能エネルギーの普及や学校でできるSDGsアクションをテーマに「みなとSDGs」のセミナーを開催し、環境に関する見識を深めてまいりました。その他にも、「企業と環境展」の企画として、「しいたけ栽培チャレンジ」を行い、SNSを活用した新たな事業に取り組みました。

みなと環境にやさしい事業者会議は、大切な地球環境を守り、次世代に引き継いでいくため、様々な事業に積極的に取り組む必要があると考えております。今後も、区を取り巻く状況を踏まえつつ、引き続き様々な取組を展開していきたいと考えております。皆様の一層のご協力をお願いいたします。

## 設立趣旨

21世紀に入り、異常気象の多発、北極や南極の海水の溶解、砂漠化の進行など地球温暖化の影響はますます深刻さを増しています。豊かな自然を守り、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくのは、わたしたちみんなの責務です。

利便さや快適さを求める大量生産、大量消費、大量破棄という社会スタイルを、市民、企業、行政をはじめとしたあらゆる個人、組織が、それぞれの立場で真剣に考え、環境にやさしいライフスタイルへと転換していく必要があります。

港区は、東京の中でも企業や各種団体の本部機能が集中しています。この特徴を生かして事業者と区民と区が連携し新しい協働の場を確立できれば、これまででない環境保全活動の取組みとして「みなとモデル」を全国に発信することができるでしょう。ひとつの地域での取組みが、世界を変えていくほどのうねりになる。「みなと」という地域に集うわたし

たちのネットワークは、そんな大いなる可能性を秘めていることでしょう。そうした新しい連携を可能にする土台として「みなと環境にやさしい事業者会議」は平成18年5月に設立され、今年で17年目を迎えます。

「みなと」にかかわるすべてのパートナーシップの要として、生きた情報と知恵の受発信が行われる前線基地として、そして個々の事業者にとっては地域と地域環境への貢献を同時に推進できるひとつの拠り所として。業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場に、環境に対する互いの意識を高めあえる場に、そしてアイデアが次々とカタチになっていく活気のある場になりたいと思います。

この趣旨にご賛同いただけるひとりでも多くの事業者の方に仲間に加わっていただければ幸いです。わたしたちが手をたずさえることで生まれる力が、地球環境問題を根本的な解決にむかわせる希望となることを期待して。

2021年度は 新規会員事業者として 5団体が参画しました。	サムライ・キャピタル 株式会社	シナネンホールディングス 株式会社
一般社団法人 竹芝タウンデザイン	東急不動産 株式会社	株式会社三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

# 事業者・区民・区の協働の場、3つのテーマで取り組んでいます。

## 学ぶ

- みなとSDGs P07
- 農業体験ツアー P08
- meccツアー P09

## 活動する

- みなとクリーンアップ大作戦 P11
- スポGOMI大会 in みなと P12
- meccファーム P13

## 発信する

- 企業と環境展 P15
- mecc EXPO P16
- しいたけチャレンジ P17

### 2021年度イベント

5月19日	総会 (※)
6月15日	2021年度 第1回みなとSDGs (※)
6月20日	J-WAVE 100万人のキャンドルナイト (※)
6月23日	meccツアー
7月10日	mecc農業体験ツアー
7月20日～22日、 26日～28日	meccファーム
8月6日	みなと打ち水大作戦 促進活動
9月14日	2021年度 第2回みなとSDGs (※)
10月15日	企業と環境展2021 (※) 企業と環境展 しいたけチャレンジ
11月16日	2021年度 第3回みなとSDGs (※)
11月27日	スポGOMI大会inみなと
1月4日～26日	meccEXPO
1月18日	2021年度 第4回みなとSDGs 特別講演 (※)

※印はオンラインで実施

#### コロナ禍での中止事業

5月	エコライフ・フェアMINATO2021 エコバザー
8月	みなと打ち水大作戦 (日比谷、ハマサイト、赤坂、竹芝)
10月	みなと区民まつり エコバザー 企業と環境展 U-25イベント
11月	MINATOシティハーフマラソン2021 (協賛)



### 2021年度 総会

オンラインにて、総会を開催しました。武井港区長、小柳津港区副区長 (mecc会長) はエコプラザから、それぞれご挨拶されました。オンラインでの総会のため、事前表決書のもとに、すべての議案について会員事業者から賛成をいただき、すべての事案は可決されました。

新規会員事業者紹介では、2021年度から会員事業者の東急不動産株式会社、一般社団法人竹芝タウンデザインの2社からmeccに加入するメリットや環境への取組みをご紹介いただきました。

同日開催の第1回meccセミナーは、株式会社博報堂DYホールディングス 川延昌弘氏をお招きし「未来をつくる道具 わたしたちのSDGs」をテーマに講演をいただきました。

川延氏は、「企業がどのようにSDGsをいかに使いこなすか?」「SDGsは誰とも共感できるコミュニケーション・ツールとして、ポジティブに考えることが大切」とのことでした。

- 日時：2021年5月19日 (水) 15時00分～16時45分
- 第1回meccセミナー講師：株式会社博報堂DYホールディングス  
グループ広報・IR室CSRグループ推進担当部長  
川延 昌弘氏
- 参加者：事前表決書 54会員事業者 (議案はすべて賛成)  
聴講 zoom 43名 Youtube 13名 合計56名観覧





# 学ぶ

●みなとSDGs ●農業体験ツアー ●meccツアー

世界の動向を学び、  
一緒に考える場を提供しています。

近年CSRや環境問題だけでなく、  
SDGsの取組みも拡大してきました。

国内外の最新動向を学べるセミナーや見学ツアーを企画し、  
企業間だけでなく区民との情報交換や交流の場にもなっています。

## 区民参加型 アイディアソン 新しい港区のために

### みなとSDGs

みなとSDGsは、2019年度から開催している区民参加型のイベントです。様々な登壇者から事例紹介や、最新のSDGs情報に加え、企業、区民、行政をつなぎ、一緒に港区の新しいアイデアを出し合います。2020年度に続き、3回開催しました。オンラインでの開催となりましたが、多くの参加者が集まり、新しいアイデアが生まれました。

また、事例紹介では、再生可能エネルギー、学校で出来るSDGs、気候危機、脱炭素など幅広いテーマを取り上げました。

#### ■第1回 みなとSDGs「再生可能エネルギーと社会」

- 登壇者：
- ・eri氏 (DEPT Company代表)
  - ・長島遼大氏 (みんな電力株式会社 社長室プロジェクト推進1チーム)
  - ・市川大悟氏 (世界自然保護基金(WWF) ジャパン 気候・エネルギーグループ)

#### ■第2回 みなとSDGs「学校の実施事例からSDGsアクションを考えよう！」

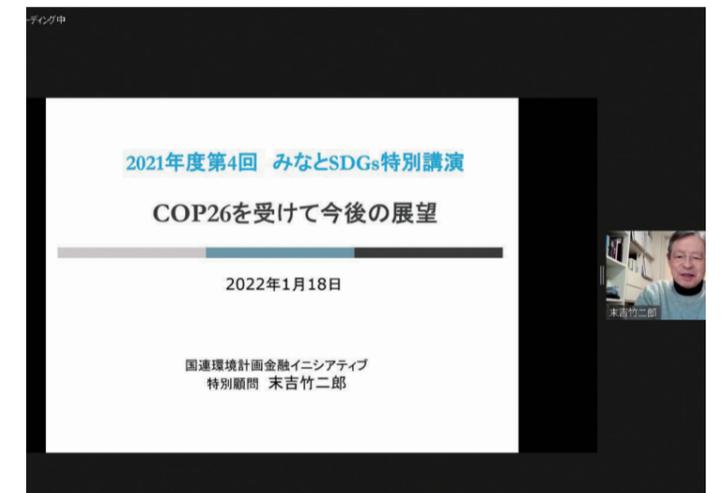
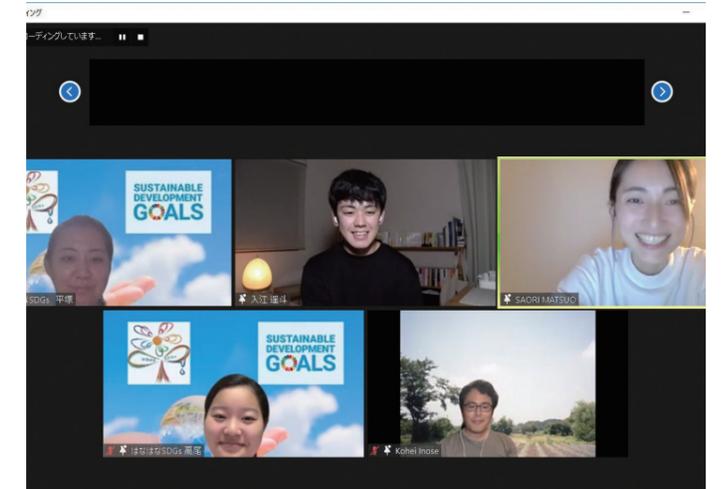
- 登壇者
- ・入江遥斗氏 (横浜国立大学/Design more.代表)
  - ・猪瀬 浩平氏 (明治学院大学 教養教育センター教授)
  - ・高尾みなみ氏、平塚 伊央里氏 (聖心女子大学 はなはなSDGs)

#### ■第3回 みなとSDGs「SDGs×気候危機 わたしたちができることは？」

- 登壇者：島田浩二氏 (東京海洋大学 海洋環境科学部門教授)

#### ■第4回 みなとSDGs 特別講演「COP26を受けて今後の展望」

- 講師：末吉竹二郎氏  
(国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI) 特別顧問 国際金融アナリスト)



- 日時：第1回 / 2021年6月15日 (火) 18:00 ~ 20:00  
第2回 / 2021年9月14日 (火) 18:00 ~ 20:00  
第3回 / 2021年11月16日 (火) 18:00 ~ 20:00  
第4回 / 2022年1月18日 (火) 15:30 ~ 17:00

- 参加事業者：アクセンチュア、NECキャピタルソリューション、NJS、オイシックス・ラ・大地、鹿島建設、カワセ印刷、昭和電工、竹芝タウンデザイン、TBSホールディングス、東京ガス、PHC、西松建設、ベジリンク、三菱UFJ銀行 虎ノ門支店、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、薬樹、リコージャパン



## フードロスの解決に向けて循環農業を学ぶ

### mecc農業体験ツアー

mecc農業体験ツアーは、千葉県山武市に借りている畑での収穫体験です。親子で食育やSDGsを学ぶ機会を提供しています。2019年から活動を始め、今年で3年目になります。

農地では、化学肥料、農薬を一切使用せず、野菜を作っています。

収穫体験では、生で食べられる白いトモロコシ、人参やジャガイモを採りました。最初は食べるのを嫌がっていた子どもも、ご両親が「甘い」「美味しい」と食べているのを見て、食べてみたところ、その甘さに驚き、一緒に食べていました。

昼食は畑で採れた無農薬野菜の料理や山から切り出した竹で流しそうめんも行いました。水に濡れることを気にせず、大人も子どもも夢中に楽しんでいました。

見学。地元農家から出た落花生の殻などの野菜クズ、企業や食品工場から出た食品残渣を堆肥化し、有機資源として畑へ戻し循環させるという取り組みです。堆肥は発酵し、中心部分は70度まで上がり、心地いい暖かさがあります。堆肥の上に絨毯をしいて寝転んだり、農家さん手作りのサウナルームで、温浴したりと楽しみました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止として、移動は大型バスを手配し、乗車時に都度手のアルコール消毒を行い、ソーシャルディスタンスを取り、実施しました。



写真左)みんなで収穫  
写真中央)堆肥場にて。発酵熱でホットカーペットのような心地よい温度を体験  
写真右)流しそうめん体験

- 日時：2021年7月10日（土）10時00分～16時30分
- 実施場所：千葉県山武市 たがやす倶楽部 完一農場内 meccファーム
- 協力：ベジリンク



参加事業者の声  
森ビル 浅野氏

大人の身長以上の深さまで改良した畑の土の柔らかさや、発酵中の堆肥のサウナのような温かさにも驚き、感動します。美味しい無農薬野菜を作るため、こうした農地の環境づくりから真摯に取り組んでいる農家の方のお話を聞きながら、皆と一緒に野菜を収穫し、野菜ランチをいただき、心地よい緑の風の中で体にも心にも元気をいただける貴重な農業体験となりました。



## 竹芝地区再開発／国家戦略特区の環境事例を学ぶ

### meccツアー

東京ポートシティ竹芝は、施設全体の環境負荷の低減や都市の生物多様性に貢献しています。今回は生物多様性保全に取り組んだ「雨・水・島・水田・香・菜園・蜂・空」の8つの景からなる「竹芝新八景」を見学しました。

スマートシティプラットフォームとして、各所にAIカメラが設置され商業店舗やワークスペースの混雑具合がアプリで分かるようになっていました。緑豊かな環境の中に最新のスマート技術を使った事例も見る事が出来ました。

ウォーターズ竹芝は「水辺を活かした街づくり」として、商業施設のほか、船着場や環境の保全と再生を目指した「竹芝干潟」を開発し、都市の生物多様性とウェルネスに貢献しています。現在は教育・研究機関と連携しながら調査や環境活動を行い、市民参加型の「干潟マイスター講座」など地域連携にも取り組んでいました。また、マイクロプラスチックやダストオイルの問題にも触れ「干潟に漂着したゴミを見ると、今環境にどのような問題が起きていて、何に取り組むべきか課題が分かる」という言葉がとても印象に残りました。



- 日時：2021年6月23日（水）13時00分～15時30分
- 場所：東京ポートシティ竹芝(竹芝新八景)、ウォーターズ竹芝(竹芝干潟)
- 参加者：ソニー・ミュージックエンタテインメント、竹芝タウンデザイン、東急不動産、西松建設、港区、森ビル、リコージャパン 計19名

### ● meccその他の「学ぶ」事業 ●

#### 最新の動向をスペシャリストから学ぶ

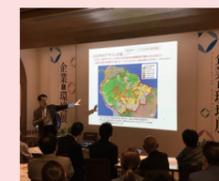
##### meccセミナー

国内外の最新の動向を交え、企業が取り組むべき環境や社会活動に役立つ様々な分野のスペシャリストを招き講演いただいています。

〈過去の講師〉

- ◎森撰氏 (オルタナ編集局長)
- ◎蟹江憲史氏 (慶應義塾大学大学院教授)
- ◎ベオ・エクベリ氏 (ワンブランネット・カフェ)
- ◎田瀬和夫氏 (SDGパートナーズ有限公司)
- ◎中井徳太郎氏 (環境省総合環境政策統括官)
- ◎竹村真一氏 (文学人類学者)
- ◎笹谷秀光氏 (CSR/SDGsコンサルタント)

※肩書きは講演当時



#### 親子で環境を学べる機会

##### 親子向け環境ワークショップ

企業が提供している環境ワークショップを実施。将来を担う小学生が多数参加しております。

〈過去ワークショップ提供会社〉

- ◎オイシックス・ラ・大地
- ◎サイオス
- ◎東京ガス 東京中支店
- ◎東京フォレストパワー
- ◎ベジリンク
- ◎ベネッセコーポレーション
- ◎森ビル
- ◎ヤマハ





# 活動する

●みなとクリーンアップ 大作戦 ●スポGOMI大会 in みなと ●meccファーム

小さな取組みも、  
連携すれば大きな活動に。

一社では取り組みにくいことも、会員事業者の力が集まれば  
大きな活動へと変わります。

事前準備や当日の運営も事務局がバックアップ。  
担当者の負担なく気軽に参加いただける場を提供しています。

## 街の美化から街づくりを考える

### みなとクリーンアップ大作戦

みなとクリーンアップ大作戦は、mecc設立時から続くイベントです。毎年多くの会員事業者が参加されています。新卒の社員研修でも取り入れている企業もあり、浜松町周辺のゴミ拾いをしながら、チームワークを育み、コミュニケーションを図っている姿が印象的です。また、街を歩きながら、浜松町の新しい魅力を発見する楽しいイベントです。

当日は小雨が降っていましたが、掃除をしている間に徐々に天候が良くなり、1時間で多くのゴミを拾うことができました。浜松町駅周辺はキレイな印象がありましたが、自動販売機の裏側や道路の植込みの中からは多くのゴミが見つかりました。

会員事業者からは、「コロナ禍で環境活動が難しいが、参加できて良かった」「賛否あると思うが継続した活動は必要」との声がありました。

活動を行った後は、meccファームで育てたじゃがいもをお土産として配布し、meccファームのアピールも行いました。拾ったゴミは、可燃14袋、不燃11袋（1袋30L）でした。

港区とタイアップしているゴミ拾いアプリ「ピリカ」にも投稿したところ、多くのリアクションがあり、mecc活動の普及にもつながりました。

当日は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、マスク、手袋の着用などを徹底しました。



写真左)自動販売機の裏は空き缶、ペットボトル、吸い殻などのゴミが見つかりました

写真中央) meccファームで育てたじゃがいもをお土産で配布しました

写真右) 参加賞のドリンクとmeccファームで育てたじゃがいも

- 日時：2021年9月11日（土）9時30分～10時45分
- 場所：港区浜松町付近の道路
- 参加事業者：昭和電工、大林組、NJS、トヨタモビリティ東京、シナネンホールディングス、港区



参加事業者の声

シナネンホールディングス 吉田氏

2021年度に初めて加盟し、浜松町の清掃活動に初めて参加いたしました。コロナ禍の参加でしたが、複数の参加企業の皆様と名刺交換でき、また事務局からお土産までいただけ、楽しいひと時を過ごすことができました。

# GOMI拾いはスポーツだ!

## スポGOMI大会 in みなと

スポGOMI大会inみなとは8年目を迎え、会員事業者だけでなく区民やNPO団体なども参加する地域連携イベントとして、meccを代表するイベントになってきました。今年是一般参加も増えmeccの新規入会事業者も複数チームで参加するなど昨年を超える多くの参加を頂きました(2020年度は16チーム75名参加)。今回も感染症拡大防止策として、軍手の着用とゴミは全てトンゴで拾うことを義務づけ実施しました。昨年は新橋駅周辺の商業店舗が休業していたこともありゴミが少なく苦戦しましたが、今年は100kgを超えるゴミを集めることが出来ました。優勝チームは8.25kgのゴミを拾いました。第2位チームは10.16kgを拾いましたが、ポイントの高いタバコの吸殻を一番多く集めたチームが優勝するなど、スポGOMIのルール楽しさと戦略の高さを感じる結果となりました。

1位～3位には表彰状のほか、港区提供の間伐材グッズが贈られました(1位カトラリーセット、2位ブックカバー、3位ヒノキのバスター)。今回の特別賞は、ピタリ賞として10位チーム、20位チームに防災用即席麺、幼稚園児～小学生までの子どもの参加者には「たくさん歩いたで賞」としてお菓子と港区提供の間伐材折り紙を贈りました。また参加者全員に東京ガス提供のサクマドロップと東京都提供の打ち水手ぬぐいを配布しました。

分別回収されたゴミは、可燃34.45kg、不燃23.58kg、ビン缶29.83kg、ペットボトル12.53kg、タバコの吸殻3.12kg、合計103.51kg(昨年は55.23kg)でした。



写真左) 1時間で集まったゴミ。合計は100kg以上  
 写真中央) 多くの子どもたちが参加してくれました!参加賞のお菓子ももらって笑顔が溢れます  
 写真右) 見事に2連覇を達成した草の根ムーブメントチーム

- 日時: 2021年11月27日(土) 10時00分～12時00分
- 会場: JR新橋駅周辺
- 参加事業者: ソニー・ミュージックエンタテインメント、三菱UFJ銀行虎ノ門支店、シナネンホールディングス、東京ガス 東京中支店、トヨタモビリティ東京、PHC、港区環境課 26チーム 113名



参加事業者の声

東京ガス 東京中支店 堀田氏

今年は健脚自慢を含む職場の仲間と参加させていただきました。やる以上は良い成績を残そうと念入りに作戦を練り臨みましたが、結果は上から1/3ほどの順位。思いの外入賞の壁は厚かったです。しかし、ハッスルしたお陰でケーブルTVさんには専属カメラマンの様にたくさん撮影していただくことができました。次年度こそはがんばるぞ!

# 身近なところで循環型社会の取組み

## meccファーム

2020年にはじめて実施して、会員事業者から好評いただいた「meccファーム」を2021年度も事業継続しました。meccファームは千葉県山武市の農地を借り上げ、無農薬で野菜を栽培するもので、フードロスや循環型農業を目指しています。

収穫した野菜は新橋駅前SL広場にて販売し、寄付をする際の原資とする予定でしたが、コロナの影響でイベント中止となったため、今年も会員事業者へ配布を行いました。

- 配布日時: ◎2021年7月20日(火)～22日(木・祝) 10時00分～19時00分(22日のみ17時まで)  
◎2021年7月26日(月)～28日(水) 10時00分～19時00分

- 配布場所: 港区立エコプラザ mecc事務局
- 配布内容: トウモロコシ(ビュアホワイト)約700本、ジャガイモ(キタアカリ、アンデスレッド、シャドークイーン)合計240kg  
※参考2020年トウモロコシ500本、じゃがいも210kg
- 参加事業者: オイシックス・ラ・大地、カワセ印刷、JAF、世界聖典普及協会、DSM、東京ガス、西松建設、博報堂、三井倉庫ホールディングス、JT、文化放送、港区、森ビル、リコージャパン、ROSSO 計15事業者



写真上)写真提供・西松建設様  
 写真下左) 事務局に届いたじゃがいも 写真下中央) 写真提供・東京ガス 東京中支店様  
 写真下右) 写真提供・世界聖典普及協会様

## ● 毎年恒例となっている「活動する」事業 ●

### 資源のリサイクルが生みだす笑顔のリレー

#### エコバザー

会員事業者から洋服や日用品、書籍などを提供いただき、売上金を利用して港区内の施設に環境に配慮した製品の寄贈活動を行っています。

<過去の活動事例>

- ◎エコライフ・フェア MINATO (2006～)
- ◎みなと打ち水大作戦 ハマサイト会場 (2012～)
- ◎みなと区民祭り (2018～)
- ◎寄贈: 港区内の幼稚園15箇所に積み木を贈りました。(2018年)



売上総額の累計

約140万円

### 一斉に打ち水をする姿は圧巻!夏の看板イベント

#### みなと打ち水大作戦

地球温暖化対策の取組みとして、港区のランドマークで打ち水を行っています。水は港区の再生水や消費期限の迫った災害用備蓄水を使用しています。

<過去の会場事例>

- ◎お台場 (2006～2013、2017、2018)
- ◎東京タワー (2007～2011)
- ◎六本木ヒルズ (2008～2010)
- ◎白金高輪 (2010～2015)
- ◎日比谷通り (2010～) ◎汐留 (2011)
- ◎ハマサイト (2011～) ◎芝公園 (2019)
- ◎新虎通り (2016)
- ◎赤坂 (2012、2016、2019) ◎竹芝 (2019)



総参加者数の累計

1,690人



みなと環境にやさしい事業者会議 企業と環境展 presents

# しいたけ栽培で地球が守れる?!

しいたけ栽培にチャレンジして環境問題を学ぼう!!

みなと環境にやさしい事業者会議のSNSをフォローすると  
しいたけ栽培キットを自宅にお届けします!

親子で「食育」や「環境問題」について考えましょう!



# 発信する

- 企業と環境展
- mecc EXPO
- しいたけチャレンジ

発信することで意識を高め、  
協働の場をイノベーションする。

企業の持つコンテンツや日頃の取組みを、  
会員事業者だけでなく区民にも発信する場を提供しています。  
展示や事例発表を通して会員事業者が協働で  
問題解決に挑むきっかけの場にもなっています。

## 企業と環境展はオンラインにて開催

### 企業と環境展 (シンポジウム・会員事例発表)

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインにて開催しました。また、学生向けのコンテンツは中止とし、親子で学ぶ環境ワークショップは代替としてオフラインで参加できる「しいたけ栽培チャレンジ」を実施しました。講演は、ONE・GLOCAL 鎌田由美子氏とオレンジページ 一木典子氏からそれぞれ講演をいただきました。

パネルディスカッションでは、コロナ禍で今後サステナビリティの取組みがどのように変わっていくかをお話頂きました。鎌田氏は「子供達に残す未来を、今私たちがただしていく責任がある」、一木氏は「コロナによるプラスチックゴミの増加、女性の雇用削減、飢餓など問題が山積した」と課題は多いが、両者とも全世界が環境問題に関心を持つ機会になった今、実際に行動を起こしていくチャンスだと捉えていると話されました。

新規事業者事例紹介では、シナネンホールディングス 吉田氏、竹芝タウンデザイン 二田氏、高橋氏それぞれ取り組んでいる事例紹介をいただきました。親子で学ぶ環境ワークショップの代替とした「しいたけ栽培チャレンジ」では、協力を頂いたベジリンクの塚田氏、しいたけ農園の永島氏から食育と栽培キットについてご紹介頂きました。「しいたけ栽培チャレンジ」はmeccのSNSを通して共有・発信し、1月のmeccEXPOで活動報告を行います。

- 日時：2021年10月15日（金）15時00分～17時20分
- 会場：港区立エコプラザ

#### プログラム

##### 開会の挨拶

(mecc会長 小柳津 港区副区長  
代理：港区環境リサイクル支援部 長谷川部長)

##### 特別講演

- 1) 「ONLY, OR」から「AND, WITH」の時代へ  
登壇者：鎌田由美子氏  
(株式会社ONE・GLOCAL 代表取締役)
- 2) 港区発・コンポストで始まる循環の生活実装デザイン  
登壇者：一木典子氏  
(株式会社オレンジページ 代表取締役社長)
- 3) パネルディスカッション「意識変化とサステナブル」

##### mecc新規事業者紹介、会員事例発表

- 1) 吉田明子氏 (シナネンホールディングス株式会社)
- 2) 二田社平氏、高橋愛美氏 (一般社団法人竹芝タウンデザイン)

mecc しいたけ栽培チャレンジ! (しいたけ食育キット)のご案内  
永島太一郎氏 (永島農縁) 塚田祥世氏 (株式会社ベジリンク)

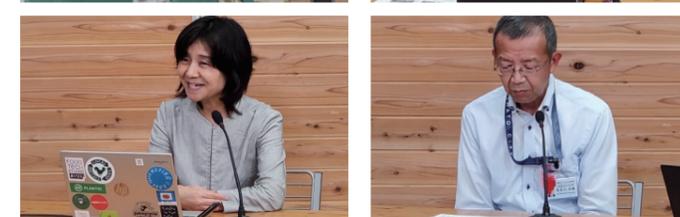


パネルディスカッション風景



写真上) パネルディスカッション風景

写真下) 会員事業者・シナネンホールディングス事例紹介



写真上左) 竹芝タウンデザイン事例紹介 写真上右) 鎌田由美子氏  
写真下左) 一木典子氏 写真下右) 港区環境リサイクル支援部 長谷川部長

## 会員事業者の取組みを一堂に展示

### mecc EXPO

1月4日～1月26日の1ヶ月間、港区立エコプラザにて、会員事業者の取組みを区民に発信するイベント「mecc EXPO」を開催しました。今年度もコロナ禍で環境活動が出来なかったと展示を辞退する事業者や、ペーパーレス化で印刷物を作成しない事業者も増えてきたことから、各事業者からCSR報告書などの冊子ではなく、企業理念や環境活動などの紹介文を寄稿頂き、合わせてSNSのQRコードを紹介した結果、参加事業者が増え来場者にも好評でした。また、開催日からmeccホームページで展示内容とコメントを公開したところ、例年よりも多くのアクセスがありました。ソニー・ミュージックエンタテインメントは、親子環境プログラム「しいたけ栽培チャレンジ」を社内活動として展開したことをきっかけに、文化放送の番組内で紹介されるなど新たな連携事例が生まれました。ソニー・ミュージックエンタテインメントの展示の隣には、meccの「しいたけ栽培チャレンジ」コーナーを設け、応募頂いた参加者の写真を展示し多くの来場者が足を止めていました。新規会員事業者も3社が参加し「地域の方々へ取組みを知っていただく良い機会だった」という感想を頂きました。

- 日時：2022年1月4日（火）～1月26日（水）
- 会場：港区立エコプラザ 1階 展示スペース
- 展示協力：NECキャピタルソリューション、オイシックス・ラ・大地、シナネンホールディングス、ソニー・ミュージックエンタテインメント、竹芝タウンデザイン、東京ガス、東急不動産、西松建設、博報堂、文化放送、三井倉庫ホールディングス、mecc（みなと環境にやさしい事業者会議）、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、薬樹、ROSSO 合計18事業者



#### 参加事業者の声 オイシックス・ラ・大地 牛島氏

毎年、mecc EXPOの開催を心待ちにしています。「今年どのような展示をしようか?」となにをするかを検討する時間ですが、実は一番楽しみなのは他の会員企業さんの展示。ヒントが盛りだくさんで、いろいろ勉強させていただいています。

#### 参加事業者の声 文化放送 村田氏

毎年meccEXPOに出展して、文化放送の環境活動を区民に知ってもらいたい機会をなっております。また他のmecc会員事業者の取組みも拝見できて、今後の活動の参考になりました。

## しいたけ栽培で地球が守れる!?

### しいたけチャレンジ

オンラインで環境や食育を学べるように、新イベント「しいたけ栽培チャレンジ」を行いました。meccでは初めての取組みで、情報発信、応募、発送連絡まで全てSNSを活用しました。協力を頂いたベジリンク 塚田氏、しいたけ農園 永島氏からは、「しいたけ栽培を通して、食育やフードロスなどのSDGsに興味を持って欲しい」や「自分でも出来ることを一つでも気づいて欲しい」との言葉をいただきました。募集開始時から申込みが殺到し、80件の募集枠に対して、200件以上の申込みがありました。

キット発送後、SNSではしいたけを栽培する写真が多く上がっており、100件以上の投稿がありました。「#みなと環境にやさしい事業者会議」で検索してみてください。

- 日時：2021年11月15日（金）～随時発送
- 当選：80名



#### 参加事業者の声 ベジリンク 塚田氏

椎茸チャレンジは簡単で、場所もとらないことから、気軽に体験でき、成長スピードが早く、翌日との差が一目瞭然。自然の力に驚かれた事でしよう。身近な椎茸の成長を観察する事から興味を持ち、環境について考えるきっかけ作りが良いと思います。

### meccのその他の「発信」事業

#### SNS活用してフレッシュな情報を共有

##### SNS

meccでは、SNSを使用した情報発信を行っております。meccでは、SNSを使用した情報発信を行っております。meccでは、SNSを使用した情報発信を行っております。meccでは、SNSを使用した情報発信を行っております。



Twitter



Instagram

#みなと環境にやさしい事業者会議で検索!

#### 展示や配布で情報発信

##### パネル チラシ

meccでは、毎年パネル、チラシを作成し区民へ配布を行っております。パネルは、エコライフフェア MINATO、生物多様性ネットワーク展示会などで掲示しチラシについては、区民祭やmeccEXPOで区民へ配布してmecc認知拡大につなげています。



meccは、地域、区民、企業が一体となり  
 発信・参加・学習することで  
 新しいアイデアがカタチになる  
 活気ある場を提供しています。  
 mecc会員になって、一緒に活動しませんか？

### meccに参加するには？

みなと環境にやさしい事業者会議は企業の環境活動、CSR活動、省エネ活動などの問題点に地域、区民、企業が同じ立場にたち業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場になりたいと思っています。

環境に対する、互いの意識を高めあえる場に、そして、アイデアが次々にカタチになっていく活気のある場を提供しています。

また、会員事業者の皆様における地球環境問題の解決に向けた積極的な取組みを支援しています。

### 「みなと環境にやさしい事業者会議」のめざすところ

- 地域をコアに地球規模でひろがる環境情報の受発信基地
- CO<sub>2</sub>削減に向けた全国に先駆ける「みなとモデル」の創出
- CSR活動に還元できるコンソーシアムとしての取組み
- 業種を超えたユニークな協働のネットワークの社会実験

- 入会資格 「みなと」にかかわりがあり、地域社会と地球環境への貢献に関心のある事業者。  
事業規模の大小、法人の形態（株式会社、各種機関、NPO、個人事業者等）を問いません。
- 年会費 5万円（1口）◎会費等は、事業運営費等に充てられます。
- 主な取組み
  - ・総会の開催（年1回） ・「企業と環境展」の開催（年1回）
  - ・分科会の開催（事業の内容に応じて） ・各イベントの実施（打ち水、クリーンアップなど）
  - ・meccセミナーの開催 ・meccツアー（視察・見学ツアー）の実施
  - ・みなとSDGs ・スポGOMI大会



### 2021年度 mecc会員一覧

アクセンチュア株式会社  
 あすか製薬株式会社  
 株式会社安藤・間  
 NECキャピタルソリューション株式会社  
 株式会社NJS  
 オイシックス・ラ・大地株式会社  
 株式会社大林組  
 笠井設計株式会社  
 鹿島建設株式会社  
 カワセ印刷株式会社  
 サイオス株式会社  
 サムライ・キャピタル株式会社  
 サントリーホールディングス株式会社  
 シナネンホールディングス株式会社  
 株式会社シュガーアンドスパイス  
 昭和電工株式会社  
 株式会社新正堂  
 世紀東急工業株式会社  
 一般財団法人 世界聖典普及協会  
 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント  
 株式会社ダイフク  
 一般社団法人 竹芝タウンデザイン  
 株式会社知識経営研究所  
 都築電気株式会社  
 株式会社TBSホールディングス  
 DSM株式会社  
 東京ガス株式会社 東京中支店  
 東急不動産株式会社  
 株式会社東京フォレストパワー

トヨタモビリティ東京株式会社  
 西松建設株式会社  
 一般社団法人 日本自動車連盟  
 日本たばこ産業株式会社  
 日本道路株式会社  
 株式会社博報堂  
 株式会社長谷工コーポレーション  
 PHC株式会社  
 日比谷総合設備株式会社  
 株式会社プロネクサス  
 株式会社文化工房  
 株式会社文化放送  
 株式会社文星閣  
 株式会社ベジリンク  
 株式会社ベネッセコーポレーション  
 本田技研工業株式会社  
 丸新運輸株式会社  
 三井倉庫ホールディングス株式会社  
 株式会社三菱UFJ銀行 虎ノ門支店  
 港区  
 明治学院大学  
 森永乳業株式会社  
 森ビル株式会社  
 薬樹株式会社  
 ヤマハ株式会社  
 リコージャパン株式会社  
 株式会社レッグス  
 株式会社ROSSO

57事業者（50音順）

## ●meccカーボンオフセット

meccでは、会員事業者向けのサービスとして、カーボンオフセット用の二酸化炭素の排出権を2008年に100トン分購入しました。すでにさまざまな事業活動（報告書印刷、イベント運営等）のオフセットにご活用いただいています。2021年度末までの償却分は57トンとなっており、2021年度以降の償却分として43トンが持ち越されています。

### 過去の主な使用実績

- ◎ イベント運営／エコライフ・フェアMINATO
- ◎ 印刷物製作／mecc活動報告書（本誌）



mecc会員事業者であれば、mecc保有のカーボンオフセットをご使用いただけます。ぜひご活用・ご相談ください。

### みなと環境にやさしい事業者会議 2021年度 活動報告書

発行 みなと環境にやさしい事業者会議  
〒105-0013 東京都港区浜松町1-13-1 エコプラザ内（3F）  
TEL 03-6806-9280 FAX 03-6806-9282  
Mail info@mecc-minato.net

発行日 2022年4月19日

製作 みなと環境にやさしい事業者会議 事務局



この印刷物は、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で作りました。森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立つ「森の町内会・間伐に寄与する紙」、VOC発生量を低減できる「植物油インキ」、イソプロピルアルコール（VOCの一種）等を含む有害廃液を出さない「水なし印刷」を使用しています。また、CTP（Computer to Plate）方式の採用により製版用現象液やフィルムを全廃しています。